

# かわらばん



西東京市立柳沢中学校

第1学年便り

令和5年10月27日

No.26

## 「読書」について考えてみよう



「読書の秋」という言葉がありますが、柳沢中の年間行事予定表を見てみると、来週は「読書週間」となっています。そこで、今回は「読書」について考えてみたいと思います。

定期考査1週間前を除けば、基本的に皆さんはほぼ毎日8時30分から朝読書を行っています。この朝読書は、柳沢中の大切な教育活動の一環として取り入れられています。先生が以前勤めていた学校では、朝読書はありませんでした。定期的に「読書週間」が設けられ、その期間に朝読書に取り組むことがありましたが、柳沢中のように毎日ではなかったため、柳沢中に赴任したばかりの頃、「素晴らしい取り組みだな」と感じたことを覚えています。皆さんが入学してからすぐ、この朝読書が始まりましたが、最近の朝読書の取り組みはいかがでしょうか？ 朝の様子を見ると、多くの生徒が朝読書に取り組んでいます。しかし、一部の人たちは、つついおしゃべりをしてしまったり、\*各教科で出た宿題を慌ててやっていたり、小テストの準備をしていたりして、先生から声をかけられて、しびしび朝読書に取り組む、という光景が見られます。

\*朝読書に限らず、本来やるべきことをやらず、違うことをやるのは当たり前ですがよくありません。特に各教科で出た課題は、本来家庭学習の中で取り組むべきです。家庭学習の中で、課題や小テストの勉強に取り組むことで、学習効果が得られるものです。朝読書の時間帯や授業中に他の課題に取り組むということは、**課題が「学習目的」ではなく、提出するためだけに「作業目的」にすり替わる**ので、本来の目的から外れ、学習効果は得にくいです。

令和元年度に実施した文部科学省の調査によると、中学校での朝読書の実施率は68.5%だったそうです。実施率が高そうに見えますが、実は前回調査より4.2%下がっています。東京都が令和4年度に実施した調査だと、1か月に1冊も本を読まない割合は、中学2年生で10.3%、高校2年生で33.4%と、前回の調査から増えています。ちなみに、大人になるとどうかというと、1か月に1冊も本を読まない割合は、20代で52.3%、30代が54.4%だそうで、どの年代も割合が増えています。今はスマートフォンの普及をはじめ、テレビやインターネットなどの娯楽が充実している世の中なので、いわゆる「読書離れ」がますます進んでいると言われています。

こうした実態を見ると、「何でわざわざ読書の時間を取らないといけないの？」と疑問に思うかもしれません。しかし、読書には私たちの生活に多くの意義をもたらすものです。例えば、本を読むことで、新しい知識が増え、本を通じて新たなアイデアや視点に触れることができるかもしれません。本を読むことで、想像力が広がり、自分の視野が広がるかもしれません。本を読むことで、新しい言葉を学び、コミュニケーション能力が上がるかもしれません。本を読むことで、今、自分が悩んでいることをすでに解決している人の考えに触れ、悩みが解決するかもしれません。挙げてみれば、たくさんの意義が出てきますが、それだけ本には無限の可能性が詰まっているものだと思います。また、朝読書に取り組んできた学校では、「読書をすることで子どもたちに落ち着きが出てきた」「読解力がついた」「他人を思いやる気持ちが出てきた」など様々な効果が報告されています。朝読書には、皆さんにとって居心地の良い学校になる可能性もあるということですね。

今回は「読書」について考えてみましたが、今、なかなか朝読書に前向きになれない人たちへ、読む本は何でも良い（もちろんマンガや図鑑は除く）のです。図書委員が学級文庫を用意していますし、図書室に行けば、面白そうな本がたくさんあります。1冊、手に取って頑張って読み続けてみて下さい。「継続は力なり」、少しずつ続けていけば、きっと慣れてきます。最後に、おさだひろし長田弘さんが書いた詩『世界は一冊の本』を紹介しします。ぜひ、柳沢中で伝統的に続いている朝読書を大切にしていきたいと思います。

『世界は一冊の本』 長田 弘

本を読もう。

もっと本を読もう。

もっともっと本を読もう。

書かれた文字だけが本ではない。

日の光、星の瞬き、鳥の声、

川の音だって、本なのだ。

ブナの林の静けさも、

ハナミズキの白い花々も、

おおきな孤独なケヤキの木も、本だ。

本でないものはない。

世界というのは開かれた本で、

その本は見えない言葉で書かれている。

ウルムチ、メッシナ、トンブクトウ、

地図のうえの一点でしかない

遙かな国々の遙かな街々も、本だ。

そこに住む人々の本が、街だ。

自由な雑踏が、本だ。

夜の窓の明かりの一つ一つが、本だ。

シカゴの先物市場の数字も、本だ。

ネフド砂漠の砂あらしも、本だ。

マヤの雨の神の閉じた二つの眼も、本だ。

人生という本を、人は胸に抱いている。

一個の人間は一冊の本なのだ。

記憶をなくした老人の表情も、本だ。

草原、雲、そして風。

黙って死んでゆくガゼルもヌーも、本だ。

権威をもたない尊厳が、すべてだ。

200億光年のなかの小さな星。

どんなことでもない。

生きるとは、考えることができるということだ。

とだ。

本を読もう。

もっと本を読もう。

もっともっと本を読もう。



■来週の予定 (10/30 (月) ~ 11/3 (金))

月 日	組	1	2	3	4	5	6	備 考
10/30 (月)	A	総合	技術	社会	国語2	美術	英語	読書週間 (始)
	B		英語	技術	社会	国語1	理科2	
	C		理科2	国語2	技術	社会	英語	
10/31 (火)	A	英語	家庭	数学	国語2	体育	国語1	
	B	社会	数学	家庭	英語	国語2	体育	
	C	英語	国語1	数学	家庭	体育	社会	
11/1 (水)	A	体育	社会	音楽	国語1	総合		⑤校外学習前日指導
	B	理科2	音楽	国語1	数学			
	C	音楽	体育	理科2	社会			
11/2 (木)		川 越 校 外 学 習						※試験2週間前
11/3 (金)		文 化 の 日						

※予定の変更等は、朝・終学活等で連絡します。